



スマイルのたね

マンスリーたかつ

学校だより No.6
神奈川県立高津養護学校
平成 30年2月 15日発行



管理職コラム

1月22日(月)に全域で雪が降りました。学校のある地域では、20センチ程積もり、交通機関の混乱もおきました。翌日23日には職員総出で学校と通学路の雪かきをしました。作業後、雪のとりぞかれた場所を見ると、高津養護学校の底力を感じました。

そして、その週の週末、学校では「たかつふれあい祭」が行われました。小、中学部の作品展示や、高等部作業班の販売、分教室の作品展示や音楽ライブ等、内容は盛りだくさんで、校内・外あわせて400名を越すお客様においでいただきました。たくさんのお客様においでいただき、児童・生徒も日々の頑張りがお客様の笑顔につながっているのを見て、とてもうれしく思っています。おいでいただいた皆様、ありがとうございます。これからも、高津養護学校のがんばりをぜひのぞきに來てください。よろしくお願ひします。

教頭 大西 祐二

学習支援G「授業改善・サポートシステム」

サポートシステムとは、授業者が困っていること、悩んでいることを、たかつ人財バンク等に登録している教員にアドバイス等をしてもらい、授業に生かしていくという取り組みです。

簡単ですが、今年1年の実施状況をお知らせいたします。(10月～2月現在まで)

- ① 実施数 合計13回(小学部2回・中学部1回・高等部7回・分教室3回)
- ② オーダー内容実施数(複数のオーダーがあり実施数と異なります)
 - A. 具体的指導方法・手順・工夫 11件
 - B. 生徒への配慮や関わり方 5件
 - C. 教材教具の工夫 4件

③ オーダー内容と授業改善の実際

内容	オーダー例	サポーター改善案
A C	体育(複数学年で行う)の進め方・授業で取り扱う内容について?	・発達段階表を参考に。グループ編成の検討。 ・他学部体育専門の教員に実際に入れてもらう。 (継続的サポートシステムの利用)
A B	生活単元「心と身体」の内容に多角的アドバイスを。指導案の書き方に不安。	・太田ステージや人間関係形成表等のアセスメントから、授業や個々の目標を設定する。

学習支援GL 朝倉 智子

中学部だより

中学部では、今年度初めて、川崎市立宮崎中学校の特別支援学級の皆さんと交流をしました。宮崎中学校は、本校から徒歩7、8分の一番ご近所の学校です。



2学期の11月に1、2年生が交流し、12月には3年生が交流しました。2回とも会場は宮崎中学校でした。

1、2年生は、広い体育館で3分間走をしたり、しっぽとりゲームをしたりと、一緒に身体を動かして楽しい時間を過ごしました。終わったあとで、宮崎中学校の生徒さんと記念写真を撮った人もいました。

3年生は、両校の校歌を披露したり、一人ひとり自己紹介をしたりしてお互いを知り合う活動をしました。剣道部

に入っている生徒さんが、実際に竹刀の素振りをしてくれて、皆びっくり！とても新鮮な体験でした。

宮崎中学校との間に芽吹いた「なかよくなるろう！の花」を大事に育てていきたいと思っています。



また、1月には「みんなでトライ」の授業の中で、高津区第二社会福祉協議会の皆さんとゲームグループの生徒がパラスポーツ・ボッチャの交流をしました。昨年に続いて2回目の取り組みで、社協の皆さんも楽しんでくださって大いに盛り上がりました。



進路だより

「卒業後は、送迎か自力通勤か？」

今回は、卒業後の通勤方法についてお話をしたいと思っています。

送迎を行っているのは、生活介護の施設のみになります。

生活介護で送迎をお願いする場合は、施設と自宅の距離もポイントになります。片道30分程度と考えると良いと思います。職員さんが施設から、8時40分くらいに送迎に出発して、9時40分くらいに戻ってくるイメージになります。あまり、遠くまでの送迎を受け入れてしまうと、施設での午前中の活動ができなくなってしまいますからです。

他の施設を考慮する場合は、原則自力通勤になります。

そのため早い段階から、電車やバスで移動する経験を重ねておくことが大切です。小学部のころから車だけで移動せず、時々電車に乗って遊園地に行ってみるなど、楽しいこととセットで練習できるといいですね。

特に就労を考えている場合は、自力でラッシュアワーの電車・バスに乗れることが大切になります。春休みなど学校が休みの時に、ラッシュの時間に電車・バスに乗る練習にも少しずつチャレンジしていきましょう



食育

1月22日(月)～26日(金) **給食週間**が行われました。
 「給食週間は、戦後に給食が再開した記念として定められ、給食の役割に理解を深め、関心を高めることを目的としています。」

内容は、ポスターや調理員さんへのメッセージを募ったり、給食委員会と放送委員会が連携し、昼の放送でメッセージを紹介したりしました。さらに、調理員さんには会食(高3)や、各クラスをまわっていただき、児童・生徒の給食の様子をみていただきました。



その他の情報

☆1月27日(土)「たかつふれあい祭」を開催いたしました。関係団体のご協力もあり、大盛況で終えることができました。保護者来校者数239名、地域の方・福祉の方・卒業生の来校者数201名です。たくさんの方々にご来校いただきありがとうございました。

☆たかつふれあい祭では今年初めて『福祉エキシビジョン』を開催しました。出展事業社の1つ、ラーゴムジャパン株式会社さんからはチェーンブランケットやチェーンベストをご紹介いただきました。これらは適度な重みがありまるでハグされているような感覚を得ることができ、睡眠困難の改善、心地よい圧迫刺激を提供してくれる道具として支持を得ています。小児歯科では身体拘束が禁止されるようになったことを受けて、このチェーンブランケットを使用する医院も増えてきているとのこと。ラーゴムジャパンさんではレンタル制度もあるため、一部実費負担すると購入の前にご自宅でごじっくりお試しください。数件お問い合わせをいただきましたが、ご興味のある方はラーゴムジャパンHPをご覧ください。 <https://lagom-japan.co.jp/chainblanket/>

☆絵本の紹介です。

『すずちゃんののうみそ』 岩崎書店/文・竹山美奈子/絵・三木葉苗/監修・宇野洋太
 「ねえ、すずちゃんはどうして年長さんなのにお話をしないの?」「しょうがいてなに?」大人だと聞きにくい障害のこと。子どもたちはすずちゃんと仲良くしたい、すずちゃんのことを知りたいという理由で屈託なく質問します。そんな質問に答えるために、すずちゃんの代わりにママが書いた保育園のお友だちと先生へのお礼の絵本です。すずちゃんの自閉症スペクトラムゆえに起きる行動を「脳の違い」という切り口で謎解きし、かつお友だちへのメッセージが詰まっています。一読されたい方は相談支援係にお声かけ下さい。

